

団体名		公益財団法人武蔵野市福祉公社				
事業内容	指標名	権利擁護事業の利用者増			目標値	320人
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 人)	293	286	269	※利用者数はつながりサポートおよび入退院後サポート事業、地域福祉権利擁護事業、成年後見受任事業、権利擁護レスキュー、生活保護金銭管理支援事業の年度末利用者数の合計とする	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目			2(1)市民福祉の向上に資する事業の実施		
	設定理由等	一人暮らし高齢者・高齢者のみの世帯の増加、更に親族機能の希薄化に伴い、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業など、権利擁護事業を必要とする市民が増加し、事業の拡大が見込まれるため。 ※成年後見事業、地域福祉権利擁護事業、生活保護受給者金銭管理支援業務、つながりサポートおよび入退院後サポート事業の各年度末の利用者を積算				
	取組内容	・今年度実施した結果、振り返りを行い、課題があれば見直す。また、積極的に市民及び関係者へ広報を行い、さらなる利用者数増を目指す。				
財務	指標名	職員の労働生産性の伸び率(前年度比)			目標値	2.0
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: %)	▲10.8	7.1	27.8	※実績値は、キャリアアップ助成金の申請などで活用する生産性要件算定シートにより算出	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目			3(1)人材の確保・育成と経営基盤強化		
	設定理由等	人員確保が困難な状況の中、安定的な事業運営のためには、職員の能力や意欲の向上、働きやすい職場環境の整備、そして業務の効率化が必要であるため。				
	取組内容	・収支改善のため、引き続き新規利用者の獲得、稼働率向上と業務改善を進めていく。 ・令和8年度以降も資格や経験のない者の採用、大学等新卒者の採用についても行い、必要な職員を確保していく。 ・職員給与及び賞与の改定は、東京都の給料表の適用を原則としながら、職種、業種に応じた適正な給料水準を保っていく。 ・新社屋では、職場環境の改善を継続し、職員が働きやすい環境を整備する。				
内部管理	指標名	人材育成基本方針に基づく人材の育成及び人材の確保			目標値	職員研修計画に基づく研修の実施
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	方針の運用	方針の運用	方針の運用		
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目			3(1)人材の確保・育成と経営基盤強化		
	設定理由等	職員の確保は喫緊の重要課題であり、そのためには、働きやすい職場環境とあわせて研修制度を充実させる必要がある。また、研修制度を充実させることで、職員の能力を向上させ、労働生産性を高めることができる。				
	取組内容	・人材育成基本方針に基づき作成した研修計画に基づき、人材育成を行っていく。 ・令和9年度卒大学等新卒者採用については、採用方法の見直しも含め検討し、必要人数の採用を目指す。				